



南島原市国際交流員

フランチのプレフェリート♥南島原

I ricordi di Franci ～フランチの思い出②

※「プレフェリート」とは、イタリア語で「おすすめ」という意味です。



ひまわりテレビ中国語講座収録の様子

先月のコラムに引き続き、今月は国際交流員の仕事を始めて2年目のことを「フランチの思い出②」として振り返ります。

2年目となる平成25年度を漢字で表すと「慣」です。ここでは、代表して二つ取り上げたいと思います。一つ目は中国人の国際交流員と一緒に仕事をしたことです。私は多くの国を旅行し、長期間外国で生活した経験があったにも関わらず、こんなに身近に中国人と接し仕事を一緒にしたのは初めてでした。おかげで、東洋文化と西洋文化の相違点と共通点、また日本人・中国人・イタリア人を比較して、面白いことを学ぶきっかけにもなりました。

同じ東洋文化といっても中国人と日本人は大きく異なります。一方、意外にも中国人とイタリア人が似ているところを発見しました。例えば、日本人は気持ちを抑え、オブラートに包んだ表現を使いながらコミュニ

ケーションを交わすのに対し、中国人とイタリア人は遠慮なく相手に感じていることをそのまま伝えます。

私は長年、日本人と接し日本文化を深く勉強していても、コミュニケーションの取り方や気持ちの伝え方が大きく異なっていてメッセージがうまく伝わらないと感じる時がありました。一方、中国の文化についてはそれほど詳しくないのに、中国人とは日本人より楽にコミュニケーションを取ることができた時があったので、不思議な感じでした。そのような中で、バランスを取り合いながら、段々と日本人と中国人と一緒に仕事ができるようになりました。

二つ目はカメラの前で話すことです。1年目から2年目にかけて「ひまわりテレビ」が収録していた中国人の国際交流員による中国語講座の中で生徒役として出演しました。テレビ出演に慣れない私は緊張しながら教わった中国語の文章を繰り返し、相槌を打ちニコニコしながら相手との会話がスムーズに見えるように一生懸命がんばりました。最初は中国語の発音が難しく、カメラの前での緊張も加わり、何回か失敗しましたが、ある程度練習したら慣れてきて段々上手になったと思います。この経験を通して中国語・中国文化の勉強だけではなく、出演した国際交流員とひまわりテレビのカメラマンとの人間関係を深めることができて貴重な経験になりました。

1年目と同様に2年目も「新しい」経験は沢山ありましたが、2年目は1年目に「新しく」感じていた日本の文化や仕事に慣れることができた年でした。

教えて！国民年金 「出張年金相談」をご利用ください

諫早年金事務所では、南島原市役所において出張年金相談を実施しています。

「年金の請求方法がわからない」、「今までの記録を再確認したい」など、国民年金に関するどんなことでも構いません。相談したいことがあれば、ぜひご利用ください。なお、今後の日程は右記のとおりです。

*詳しくは、年金事務所または市役所保険年金課(各支所)へお尋ねください。

☎ 日本年金機構諫早年金事務所
☎0957-25-1662
南島原市 保険年金課 ☎73-6641 または 各支所

●開催日程・相談時間…午前10時～午後3時(要予約)

5/10(水)	西有家庁舎	10/25(水)	北有馬支所
6/14(水)	口之津支所	11/8(水)	南有馬支所
6/28(水)	布津支所	12/13(水)	深江支所
7/12(水)	南有馬支所	12/27(水)	有家支所
8/9(水)	加津佐支所	1/10(水)	西有家庁舎
8/23(水)	有家支所	2/14(水)	口之津支所
9/13(水)	西有家庁舎	2/28(水)	北有馬支所
10/11(水)	口之津支所	3/14(水)	南有馬支所



つなごう未来へ！

島原半島ユネスコ世界ジオパーク

ジオパークで あり続けるための取り組み

島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジーオくん」

島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジーナちゃん」



図 島原半島ジオパーク協議会 ☎0957-65-5540

ジオサイト③ ～半島の平和を守った湿地～「沖田礮の戦い」



沖田礮の戦いの舞台となった三会地区。

島原市内を流れる中尾川周辺は、戦国時代に戦乱の場となりました。1584年5月4日(新暦)、当時北部九州一帯を支配していた佐賀の戦国武将・龍造寺隆信は、5万7千人の兵を引き連れて島原半島に総攻撃を仕掛けてきました。これに対し、有馬氏と島津氏の連合軍はわずか8千人で明らかに劣勢でした。

そこで連合軍は、敗走を装って湿地帯の中に続く延びる一本道(礮)の中に龍造寺軍を導き入れ、その動きを封じ込めました。そして道の両側から敵兵を攻め、総大将・隆信を討ち取ったのです。

半島の平和を守り、九州の勢力地図を大きく変える場となった湿地帯は、島原半島全体が南北に引っ張られ、半島



沖田礮古戦場跡に建てられている、龍造寺隆信の供養塔。

の中央部が沈降したためにできたものです。大地の動きがつくる地形は、時に歴史を動かす舞台になります。

第11回 島原半島 ユネスコ世界ジオパークセミナー

☎5月27日(土) 午前10時～正午

☎がまだすドーム(島原市)

☎題目…雲仙普賢岳噴火災害から26年、熊本地震から1年～地球の活動が人の生活を大きく変える～

※講演後、希望者に有料ゾーン(入館料割引価格)の案内を行います。

●講師…松島 健氏(九州大学 准教授 地震火山観測研究センター)

☎島原半島ジオパーク協議会 ☎0957-65-5540



島原半島 ジオ・マルシェ

☎5月4日(木)～5日(金) 午前10時～午後3時

☎雲仙岳災害記念館(島原市)

☎会場での販売のほか、半島ならではの体験やイベントも開催します。会場横の芝生広場も開放されますのでピクニック気分にご利用いただけます。素敵な1日をお過ごしください！

☎(一社)島原半島観光連盟 ☎0957-62-0655

